

医療の質・安全チーム大賞（Quality & Safety Team Awards 2025）発表会

令和8年3月4日（水）16時から医療の質・安全チーム大賞（Quality & Safety Team Awards 2025）発表会が開催されました。

今年度は、5事例のエントリーがありました。

どの取組も、多職種による活動によりチームワークの成果がみられた事例ばかりでした。

全国労災病院の方々に「私たちもやってみたい。」「参考にしたい。」と思う3事例を選んでいただき、投票の結果、以下の3チームが選ばれました。



【受賞チーム紹介】

- ◆ 北海道中央労災病院 「看護部医療安全係委員会チーム」
「内服インシデント減少を目指した配薬ファイルの改善取り組み」



☆受賞のコメント☆

内服インシデントの再発防止として、守れないルールではなくできる手順を考えて取り組みました。お金や時間をかけることなく、ちょっとした工夫と現場の意見を反映させたことで多くの職員の協力が得られ良い結果を出すことができました。

- ◆ 九州労災病院 門司メディカルセンター 「門司メディカルセンター-CSCATTT 外来チーム」
「外来看護師の震災発生を想定した訓練実施前後の意識調査」



☆受賞のコメント☆

ステキな賞をいただきありがとうございました。

興梠院長発案のMRプロジェクトの一環である
プレバト川柳から一句！

「訓練で意識を高め守ろう命」

- ◆ 横浜労災病院 「NICU・GCU 災害対策チーム」
「NICU・GCU 病棟における災害対策についての取り組み」



☆受賞のコメント☆

スタッフ全員でこの取り組みを積み重ねて参りました。多職種が一体となって課題を共有して改善を続けてきたこのプロセスが今回の受賞につながったのだと感じています。

今後も災害に強いNICUを目指して取り組み続ける組織でありたいと思います。